

# HoRC-MSA ニュースレター

## 第63回日本神経学会学術大会：ハイブリッドで開催

2022年5月18～21日に第63回日本神経学会学術大会が東京（東京国際フォーラム）で開催されました。今年の学術大会のテーマは「幸福100年社会における脳神経内科学の展望-AI技術との共存に向けて」となっており、高齢化が進む人生100年時代の日本社会と医療現場に少しずつ導入されてきているAI技術というキーワードが含まれた未来志向のものでした。

新型コロナウイルス感染症パンデミックの対策として、現地参加とウェブ視聴のハイブリッドでの開催となりました。学術大会からの終了報告によると、現地参加は4,194名、ウェブ視聴者を含めると8,296名の参加があったとのことで、ハイブリッド開催とすることで多くの方が参加することができたようです。HoRC-MSAからも、みなさまにご協力いただき蓄積した疫学データをまとめたポスターを英語で作成し、3年ぶりに現地参加で発表を行いました（右下図参照）。

今回の学術大会でも、多系統萎縮症(MSA)に関する発表が多くありました。国内外の研究者がMSAの臨床病理学的特徴や記憶障害に関する内容を検討するシンポジウムがあったほか、口演・ポスターでは、MSAの髄液バイオマーカーと臨床所見の関連やMRIや核医学検査等の画像検査を用いた診断についての発表、MSAモデル動物を用いた研究についての発表もあり、病態解明や診断・治療法開発が更に促進することが期待されます。MSAの病診連携や看護支援の方策の検討に関する発表もあり、MSAの克服に向けて、様々な取り組みが進められています。



## 多系統萎縮症の臨床試験に関する話題

前号でもお知らせしましたように、国内外でMSAに対して実施中の臨床研究・治験があります。その後の経過などについてお知らせします。

**間葉系幹細胞**を髄腔内に投与する治療はアメリカやインドネシアで行われ、現在結果待ちの状況です。MSAの原因は脳内に蓄積するアルファシヌクレインにあるとされていますが、それを標的にした治療として、**Lu AF82422**というモノクローナル抗体が開発されています。こちらの治験は主にアメリカで、一部日本の患者さんも参加して実施中です。この他にもアルファシヌクレインの蓄積を阻害する効果が期待できる薬剤として、ATH434やBIIB101、Anle138bなどの治験が海外で行われています。**コエンザイムQ10**の治験の結果はまだ論文発表されていませんが、その有効性が期待されています。

北海道内で新たな治験が開始される場合には、HoRC-MSAに参加中のみなさまにも情報提供いたします。その際には、ぜひご協力をいただけますようお願いいたします。

# 多系統萎縮症の新しい診断基準

多系統萎縮症（MSA）の診断基準は、Gilmanらによる2008年の第2回Consensus Criteriaが広く使用されてきましたが、この度、2022年に新しい診断基準が国際パーキンソン病・運動障害疾患学会より公表されました。2008年の診断基準の問題点として、正確性が高くない（特に早期）、MSAの多様な病型が反映されていない、除外基準が不明瞭、新たな診断マーカーが反映されていない等が指摘されていました。

新たな診断基準では、除外基準が明確に規定されるとともに、臨床的な診断として「Clinically established MSA」（特異度を向上させつつ感度を保った基準）と「Clinically probable MSA」（感度を向上させつつ特異度を保った基準）という2つの区分が新たに作成されました。診断の主たる構成要素は自律神経障害、パーキンソニズム、小脳症状であることには変わりはありませんが、「Clinically established MSA」ではMRI検査での被殻の萎縮や橋のHot cross bun sign（十字サイン）を認めることが診断基準に規定されました。

また、治験・臨床研究等においてより早期の段階（prodromal）にあるMSAを診断するための基準としてPossible Prodromal MSA基準も提唱されました。新しい診断基準により診断の正確性が向上することが期待されます。

## 参考文献・資料

The Movement Disorder Society Criteria for the Diagnosis of Multiple System Atrophy. *Mov Disord.* 2022; 37(6): 1131-1148.

## 調査へのご回答のお願い

HoRC-MSAへの参加希望の「意向調査」の返信をいただいた方には、研究説明同意文書とスクリーニング調査票をお送りしています。「同意書」の提出のない場合は、参加する方の承諾が得られていないということになりますので、調査研究を進めていくことができません。HoRC-MSAに参加をご希望の方で、もし同意書が未提出でお手元にある方は、返信用封筒に入れて事務局へお送りください。

登録済みの方には、適宜所定の調査票をお送りする予定としています。こちらにもご協力をお願いします。

時々、転居などのためにこちらから発送した書類が届かずに返送されてくる場合があります。住所変更、通院先が変わったとき、お亡くなりになられた時など、何かありましたら、同封の「変更用紙」にてお知らせをよろしくをお願いします。



### HoRC-MSA事務局

〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野  
神経内科学教室（北海道大学病院神経内科）

TEL 011-706-6028 FAX 011-700-5356

URL <http://neurology.med.hokudai.ac.jp/~neuro-w/horc-msa/>



## 質問・ご意見等募集

HoRC-MSAでは、みなさまのご意見やご質問を募集しています。お寄せいただいた内容は、個人情報に留意しつつ、HoRC-MSAの取り組み・運営の参考にさせていただきます。

〒060-8638

札幌市北区北15条西7丁目

北海道大学大学院医学研究院神経病態学講座

神経内科学教室 HoRC-MSA事務局

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症パンデミックに対する対策を講じた学術大会は、2020年、2021年に引き続き、今回で3回目となりました。ハイブリッド開催であることにより、現地参加が出来ない参加者も最新のトピックをウェブ視聴できることは大きなメリットです。海外の学会もウェブ視聴できるものが多くあり、これからも学会のDX（デジタルトランスフォーメーション）が進んでいくことに期待したいです。